

目次

- 1面 第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会
- 2面 知ろう!話そう!PTA!2019
- 3面 第42回市P連バレーボール大会
- 4面 市P連活動報告
- 5面 第75回指定都市PTA情報交換会新潟大会
- 6面 第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会
- 7面 次年度大会案内
- 8面 令和2年千葉市P連新年情報交換会
- 9面 令和元年度表彰
- 10面 区P連この1年を振り返って
- 11面 千葉市大会実行委員会より
- 12面 千葉市PTA安全互助会説明会
- 13面 PTA学級説明会
- 14面 編集後記

市P連 CHIBA ちば

ホームページ 千葉市PTA連絡協議会 検索

第76号
令和2年3月5日発行
発行
千葉市PTA連絡協議会
〒260-0026 千葉市中央区千葉港2-1
千葉中央コミュニティーセンター5F
TEL 043-245-5863
印刷 (株)集賢舎

第51回
日本PTA
関東ブロック研究大会
千葉市大会

大会宣言決議文

私たちは、「磨こう 親の背中〜千葉の郷からミライへつなぐ〜」を大会スローガンとして、第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会の開催に向け、6つの分科会において研究・討議の準備を進めてきました。

少子高齢化、いじめ、不登校、貧困、地域における連帯感の希薄化、人と人とのコミュニケーション不足など、現在の社会には問題が山積しています。また、AI（人工知能）をはじめとする科学技術の発展やSNSの普及など、子どもたちやわれわれ大人を取り巻く生活環境が大きく変化し、教育そのものに対する考え方も多様化しています。

さらに、自然災害をはじめ、事件・事故等による「かけがえのないのち」を失う報道が絶えません。今、子どもたちを安全で健やかに育むための家庭・学校・地域社会の連携が強く求められています。私たち大人も自ら果たすべき役割や、あるべき姿を見いだす必要があります。

私たちPTAは、保護者・学校・地域・関係機関との交流・結束を深め、子どもたちの安心・安全な環境づくりに取り組みます。また、子どもたちが夢と希望と優しさを持って育つような社会であるように、私たち自身が夢を持ち、学び、研鑽を重ね、お互いを尊重し助け合いながら実践活動をしていくことが大切であると考えます。

本大会に向け、新しい時代に対応するために必要とされる家庭の役割、学校や地域との連携をはじめとして、伝統文化や人権、安心・安全などの課題への対応を考えてきました。また、子どもと一緒に成長していける大人であるべく、学んできました。その成果を活かし、PTA活動をいっそう推進するために次のとおり決議し、その実現のために努力していくことを宣言します。

1. 家庭・学校・地域が互いに連携し、心身ともに健全な子どもを育むPTA活動を展開する。
1. 子どもたちが安全で安心して成長できる教育環境の整備・充実に向けたPTA活動の推進に努める。
1. PTA活動の一層の充実のため、活動しやすい環境づくりを進め、会員の資質と連帯意識の向上に努める。

令和元年12月6日
第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会

ところが、台風19号の関東直撃で記録的な被害が予想される中、安全第一を考え、やむなく中止となりました。

しかし、このままでは次年度のとちぎ大会への引継ぎができない状況でした。そこで、急遽関東ブロックPTA協議会の臨時会長会議を千葉市で



日P佐藤会長のあいさつ



日P佐藤会長から大会会長に感謝状贈呈

開催し、各協議会の総意のもと、引き続き全体会の式典の部を行うこととなりました。

そして、12月6日(金)、ホテルポートプラザちばにて、第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会の全体会式典を開催しました。

当日は日本PTA全国協議会会長 佐藤秀行様をご来賓としてお迎え

し、関東ブロックの各協議会会長、感謝状受賞者のほか、千葉市からも実行委員・市P連役員など総勢約60名が参加しました。

「磨こう 親の背中〜千葉の郷からミライへつなぐ〜」をスローガンに掲げた大会宣言が、満場の拍手で採択されました。

続いて、感謝状の贈呈やとちぎ大会への大会旗



関ブロ大会旗を栃木県に引継ぎました



かそりーぬも駆けつけました

引継ぎも無事終了しました。厳粛な中にも温かな雰囲気で行進し、星野実行委員長の言葉で会を閉じるまで40分があつという間でした。

全体会の様子はもちろんですが、分科会で発表していたべく予定だった研究発表校の方々から届いている紙上提案も、大会報告書として年度末には各学校にお届けできる予定です。

実行委員長より



千葉市大会 実行委員長 星野 正昭

まず始めに、この度の台風15号、19号や集中豪雨により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された多くの皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く復旧されますことをお祈り申し上げます。

今回の研究大会を楽しみにしていただいていた多くの会員の皆様、講演

者や発表者の皆様におかれましては、大会が中止という形になり、大変申し訳ありませんでした。実行委員長として大変難しい判断でしたが、大会にかかわるすべての方の安全を考えたとき、正しい判断ができたと思います。

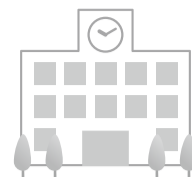
「磨こう 親の背中〜千葉の郷からミライへつなぐ〜」の大会スローガンのもと、皆様にも少くも大会に参加して良かったと思ってもらえるように、ちようど3年前から準備してきたので、この決断は大変残念でなりません。

しかし、私たち実行委員やスタッフはその過程の中で得た多くのもの、たとえば、テーマを考えた場面の計画や様々な打ち合わせをしたりして知恵を出し合い準備を進める中で素晴らしい仲間を得たことなど、今後のPTA活動に生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、千葉市教育委員会をはじめ関係者の皆様には多大なるご尽力をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。



前列中央に佐藤日P会長、大塚会長を囲み6名の受賞者、星野実行委員長、かそりーぬ。参加者で記念撮影



PTA! 2019! 知ろう! 話そう!



7月4日(木)と6日(土)の二日間、今年で15回目の開催となる役員研修会「知ろう! 話そう! PTA! 2019」を千葉市生涯学習センター大研修室にて開催しました。

今年123名の小・中学校PTA役員の方々にご参加いただきました。

このPTA役員研修会の目的は、約1時間半のグループ学習を通じて、日頃から抱えるPTA活動の共通の課題について他校の事例を聞きながら新たな発見をしたり、同じ思いを抱えて頑張っている他校の役員からアドバイスをもらったり、一人で悩むのではなく共に語らうことで、少しでもPTA活動におけ



る課題解決につなげていただくことです。

また、今年は主催者挨拶につき、「PTAの個人情報」の研修を行い、特に留意しなければならぬことなどを学びました。

グループ学習では、1グループ5〜6名で席を囲み緊張気味の中、自己紹介をしました。ほとんどの方が他校PTAなので初めて顔を合わせましたが終盤になると各グループから笑い声も聞こえるようになり大変な盛り上がりでした。

今年も「役員決め」や「任意加入・会費の徴収方法」が多くのグループで共通の議題にのぼりました。

「役員決め」では、本部役員やクラス役員など各学校の役員選出方法について、ポイント制を実施している学校や、完全任意での選出、またはくじ引きなど様々な方法や創意工夫がシェアされました。

「任意加入・会費の徴収方法」については、PTA未加入家庭へのアナウンス方法や、PTAへ参加することの意義とは何かについて、互いに意見交換する場面が見られ、大変充実した内容となりました。

約1時間のグループ学習後、代表による報告と感想の発表に深く頷いたり、笑いや拍手がわいたり和やかに会を終えまし

た。事後アンケートでは、ほぼ100%の満足度となっており、大変有意義な意見交換の場となりました。

今回話し合われたことを学校へ持ち帰り、今後のPTA活動にお役立ただけると嬉しいです。

各学校に2部報告書を配布していますので、ぜひご覧ください。以下、その内容を抜粋・要約してご紹介します。

役員決めについて

- ・抽選・アンケートを用いて役員を選出し、難しい場合は引き受けてくれそうな人に直接コンタクトを取っている。
- ・ポイント制を取り入れることによって、なるべく不公平なく役職に就いてもらうようにしている。
- ・ノルマを廃止し、任意で役員を選出している。
- ・立候補が居なければ活動自体を縮小、規模の見直し、活動の見直しをするようにしている。
- ・任期の縛りを無くし、1年から参加でき誰でも出来るような体制を整えることによって立候補で参加してもらうようにしている。
- ・秋に選考委員会が発足し役員選出がスタートする。
- ・本部役員の活動を全保護者に周知することで、役員に興味を

持つてもらおうようにしている。仕事をしながらの活動になるので、役員に選出された人が少しでも負担なく活動できるように業務のスリム化を模索している。

働いている人でも参加しやすい日程で会議を決めている。PTA連絡はペーパーレスで行なっている。本部役員の人数を増やして負担軽減を目指している。

PTA会費について

- ・会費の振込にかかる手数料を防ぐ為に、手集金を行なっている。
- ・児童数で集金、家庭数で集金と学校によって様々。
- ・会費は無理に集めようとせず、交渉については学校に託すようにしている。
- ・会費のコンビニ払いをスタートさせた。
- ・「役員をやらなくてもいいから」と言って集金をするとほぼ100%集まった。
- ・年会費は二千元〜五千元と様々。

男性のPTA参加について

- ・父の部で運動会を仕切る、バザーの作品作りをしている。
- ・イベントの手伝いをしてもらえるので、PTAの負担軽減になっており助かっている。
- ・男性のPTA参加により、男性目線での意見が出て視野が広がる。
- ・おやじの会が本部に組み込まれている学校と、完全ボランティアの学校がある。
- ・本部役員の半分が男性の場合、「母親代表」担当をどうしたら



いいか模索している。女性は集まりの日に一日空けて参加する人が多いが、男性は午前中だけという形で参加する人も多い。

個人情報の管理について

- ・PTA室にPCがあるが、USBデータは必ず持ち帰るようになっている。
- ・写真掲載の承諾については学校、PTAがそれぞれ得ている。
- ・広報紙に載せる写真について、子供の顔が特定できない写真(画質、引きの画像)を使用するようにしている。
- ・LINEは情報漏洩の面からセキュリティが万全ではないので固有名詞に気をつけてやりとりしている。
- ・データをメールやLINEでやりとりしているので対策が必要だと考えている。

参加された方の感想です

・有意義な意見交換会でした。皆さん、校内活動は変えなきゃいけないという意識を持っておられ、背中を押していただけでした。

・聞きたいことを準備してればよかったですと思うくらい、時間があつという間でした。

・もう少し早くこの会を行いたかったです。型にこだわらず、やるべきことをやればいいのだと、とても勇気をいただきました。

・他の学校のPTA役員さんと本音を交えいろいろ話ができ、とても有意義な時間でした。同じ悩みを抱えていることが分かったり、自分の学校とは違うなと感じるところもあり、今後の活動に役立てられる有益な情報をたくさん得ることができました。

・ぜひ、自校に戻り取り入れたい内容もあった。改革は次につながり、子どもに必ず戻るものだと思っ、皆が気持ちよく参加できるPTAにしたい。

・自分が思っていたことや感じていたことが、他校の方も同じ気持ちで活動している、自分だけじゃなかったんだ!!と思いました。

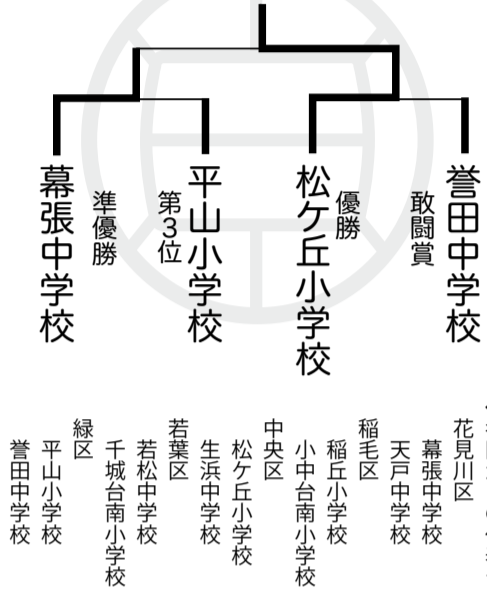


第42回 市P連バレーボール大会



..... 決勝トーナメント

優勝



松ヶ丘小学校



準優勝 幕張中学校



3位 平山小学校



敢闘賞 誉田中学校



PTAバレーボールは、練習や応援を通し保護者同士、先生方との親睦を深めるのが目的です。バレーボールに興味がある方や運動不足を感じている方は、ぜひ一度練習に参加してみたいかががでしようか。

閉会式では、入賞チームへ賞状・トロフィーが、全チームへ記念品が授与され、毎年審判を務めていただいているスポーツ推進委員の皆様へお礼を述べて終了。けが人もなく無事に大会を終えることができました。

各チームともチームワークが良く、喜び合い、励まし合い、力を尽くした充実感、そして、相手チームとの健闘をたたえあう姿にスポーツの素晴らしさを感じ、選手や応援の皆さんの笑顔に、PTAバレーの醍醐味を感じた一日となりました。

予選の結果、幕張中(第一コート一位)対平山小(第二コート二位)、松ヶ丘小(第二コート一位)対誉田中(第一コート二位)の準決勝へ。勝ち上がった松ヶ丘小対幕張中の決勝戦は、多くの方が見守る中、15-4で着実に加点した松ヶ丘小が勝ち、令和最初の優勝トロフィーを手に入れました。

ファイナルプレーが続出し、1点をめぐる白熱した試合となりました。

開会式は終始和やかムードで行われ、審判長諸注意、準備体操と続き、徐々に高まる緊張感の中、いよいよ2つのコートに分かれて各コート総当たり戦の予選スタートです。

第一コートは、生浜中(中央区)、若松中(若葉区)、小中台南小(稲毛区)、誉田中(緑区)、幕張中(花見川区)、第二コートは、松ヶ丘小(中央区)、千城台南小(若葉区)、稲毛小(稲毛区)、平山小(緑区)、天戸中(花見川区)です。さすが、各区から予選を勝ち上がったチーム同士、ファイナルプレーが続出し、1点をめぐる白熱した試合となりました。

9月21日(土)千葉公園体育館において、各区から激しい予選を勝ち抜いた10チームによる第42回千葉市PTA連絡協議会バレーボール大会が開催されました。

開会式では、前年度優勝校の松ヶ丘中学校PTAより優勝旗が返還され、大塚会長の挨拶、市教委挨拶に続き、生浜中学校キャプテンの小倉夫妻による力強い選手宣誓がありました。

開会式は終始和やかムードで行われ、審判長諸注意、準備体操と続き、徐々に高まる緊張感の中、いよいよ2つのコートに分かれて各コート総当たり戦の予選スタートです。

第一コートは、生浜中(中央区)、若松中(若葉区)、小中台南小(稲毛区)、誉田中(緑区)、幕張中(花見川区)、第二コートは、松ヶ丘小(中央区)、千城台南小(若葉区)、稲毛小(稲毛区)、平山小(緑区)、天戸中(花見川区)です。さすが、各区から予選を勝ち上がったチーム同士、ファイナルプレーが続出し、1点をめぐる白熱した試合となりました。



子どもの健康と安全を守る 教育予算拡充を要望しました！

11月15日(金)、大塚会長が市役所を訪問し、「子どもの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉市連絡会」の代表の皆さんとともに、熊谷俊人市長に教育予算拡充を要望する署名を手渡しました。

今年度は連絡会が発足して3年目になります。市P連が加入校の協力を得て集めた署名を、他の教育団体の皆さんとともに熊谷市長に直接渡し、教育予算拡充の要望を伝えました。



大塚会長から熊谷市長へ、日頃から市P連の活動や学校・家庭・地域の連携に深いご理解をいただいている感謝とともに、エアコンなどの早期整備、台風被害を受けた学校の復旧など、更なる教育環境整備を要望しました。

2020年度教育予算拡充の要望書 (市P連が重視している要望の抜粋)

- 学校施設の環境整備の予算
エアコン設置、トイレの早期改修
バリアフリー化、老朽化対策など
 - 通学路の安全確保や不審者対策の
予算の早急な増額
- 子どもの健康と安全を守るための予算拡充を求めます！



PTAの課題と市P連の取り組み

現在千葉市167校中106校が市P連に加入しています。最近の相談で特に多いのがPTA未加入への対応です。ここ数年で「加入しない」という家庭が出てきて、その対応に悩む役員や学校が少なくありません。

千葉市では2015年から、市教育委員会より学校宛てに「PTA等は任意加入団体であることを新入生説明会などで周知すること」「学校や地域の実情に合わせて加入申込書などを取ることを望ましい」と通知しています。

一方、PTA役員には任意加入の説明についての情報が少なく、学校から言われてもどうしてよいかわからず役員間で意思統一されていないことも多いようです。

そこで、市P連では、新年情報交換会や「知ろう！話そう！PTA!」などで任意加入についての文書を配布し、情報提供を行っています。自校のPTA活動の特色や会費が何に使われているかなどの説明や、PRが不十分なまま「加入するか・しないか」という選択をする申込書を配るだけでは誤解が生じます。

役員になって初めてPTAの存在意義についてよくわかったという声もある一方、役員を強制されたというトランプルになる例もあります。本来PTAはみんな子どもたちを見守り育てる仲間であるはず。一人ではできないことも共に支え合いながら、みんなと一緒に子どもたちのより良い教育環境づくりに取り組んでいくのがPTA。「Pばつと、T楽しく、A集まろう！」の合言葉でみんなの良い環境を作りましょう！と伝えていきます。



今年度から始めました！

本年度から新しい取り組みとして、市P連役員経験者OB・OGとともに学校PTA訪問を始めました。それぞれの単Pで状況が違うので、「こうしてください」と押し付けるのではなく、役員の方々に寄り添い、話を聞いて情報提供をします。

今年度の9月に訪問した学校では、初めての未加入家庭への対応に悩まれました。実情をお聞きし、「PTAは加入会員の子どもたちの利益のためだけの組織ではなく、その学校全体の子どもたちの応援団と考えて活動しては？」と伝えました。後日、「単Pだけで考えていたのと違っていろいろな考え方や事例を聞け、視野が広がりました」と、丁寧なお礼状が届きました。

今後マニュアルを示すだけでなく、その学校にあった対応と一緒に考える手伝いをしたいと思っています。市P連事務局に、ぜひ一声おかけください。

市P連では、「市Pって？区Pって何？」というリーフレットをHPに掲載しています。「PTAに加入すると何がいの？どんな事業や支援をしているの？」という疑問にお答えしています。校内でも説明会・役員会などで活用していただき、多くの皆様に賛同が得られるよう、活動をPRしていきましょう。また、各学校のPTA役員の皆様へ「任意加入の説明・個人情報の扱い方」等の留意点についてお知らせしました。学校や地域の特性に応じてよくご相談の上、実施してください。また、お困りの点・疑問な点は、遠慮なく市P連事務局にお問い合わせください。

第75回 指定都市PTA 新潟大会 情報交換会

9月12・13日に第75回指定都市PTA情報交換会「新潟大会」に参加してきました。スローガンは「すべては心豊かな子どもたちへ」。親のおもい、学校のちから、地域のやさしさ。初日は、第一分科会「魅力あるPTAの創造」、第二分科会「多忙解消等」、今求められているPTAの役割と研修、第三分科会「安全・安心、子どもたちを取り巻く環境問題への取り組み」、第四分科会「読みたくなる広報誌とは？」の四つの分科会に分かれたの協議でした。

私は第二分科会に参加しました。ここでは、グループを五つに分け、「教職員の多忙化を解消するためのPTAの役割とは何か」具体的なアクションを実現するためにPTA向けに行う研修の有効な手段やその内容の協議」というテーマと、「主体的に多くの方が参加するPTA研修を行うためにはどんな手段があるのか」魅力ある研修会の運営方法・アプローチ・報告活動の工夫などの協議」のテーマについて有意義な情報交換を行いました。

最後に、指定都市PTA連絡協議会の皆様方から、「千葉は台風で大変でしたね。」と温かい言葉をかけていただき、心温まる思いをした大会でした。ここで学んだことを生かしていきたいと思います。(副会長 伊藤紀行)



第67回

日本PTA全国研究大会 兵庫大会



令和元年8月24日(土)・25日(日)に開催された第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に、千葉市P連役員等10名で参加しました。

特別第1分科会
日本PTA全国協議会

研究課題

「いじめ」なんてかつこわい!

「いじめの未然防止、早期発見のために考える」をテーマに、元小学校教諭で現在は大学院教授である高橋知己氏の講演で始まりました。



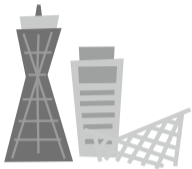
「いじめを早期発見しにくいのはなぜか?」という問いに対し、大学生・大学院生を対象に調査した結果を示されました。大別すると、生徒の要因・教師の要因・

発見方法の不備という三つの要因があり、さらにそれらを細分化して考察された内容でした。私達参加者も会場内で6人程度のグループを作り、この要因に対して自分たちが考えた理由などを話し合いましたが、各グループの結果は前述の学生の調査結果とほぼ同じだったという所が大変興味深かったです。

ただ、いじめの早期発見にはこれらの要因の解決だけではなく、あらゆる視点から発見し、社会ぐるみで守ることが急務であるということも力説されました。

そして、私たち大人が気を付けていかなければならないのは、子どもたちが多くの他者とながらる機会を増やし、援助を求め、相手を増やしていくことが本意である子ども「自立」と話されました。

初めての全国大会分科会の参加でしたが、高橋氏の「命を守りたい」という強いメッセージを感じた貴重な時間になりました。
(書記 北山由美子)



第6分科会 防災教育

テーマは「いのちを守る防災教育(家庭・学校・地域)いま私たちに出来ること」。災害に対する意識をより高めるため、またこれまで経験した災害の教訓を次世代につなげることが出来る防災・減災教育とはどんなものなのかを学びました。

講師は国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長の林春男氏。防災教育とは、災害に対する防災力(災害を乗り越える力)を向上させるため、危機に立ち向かい、それを切り抜けることを可能にする『生きる力』を育

てること。定着させるためには学習したことを試す。他人に教えるなどアクティブラーニングが必要だ、と話されました。

姫路市内の児童生徒による実践発表では、自分たちに何が出来るか考え取り組む防災クラブ、防災に関して学んだことを校内及び地域へ啓発していく防災ジュニアリーダー活動の発表がありました。身を守る設備を整えるだけでなく人とのつながりを大切にする、と話されたのが印象的でした。



ディスカッションでは、災害の時に一番大切なことは一つしかない命を守ることという話と、「わがこと(当事者)意識」を持つというキーワードが繰り返され、子どもに伝えようと強く思いました。

全体会

全体会

2日目の全体会記念講演は、メンタリストとしてメディアでも活躍のDaigo氏。演題は『子育ては、心理学でラクになる』でした。

子育て経験のないDaigo氏の講演ということに、なぜ?という気持ちがありました。その話は目から鱗が落ちる内容でした。一日20冊読まれるという文献等からのデータ・情報に裏打ちされた話、特に「子どもの性格形成に子育ては6%の影響しかない」という言葉に衝撃

を受けました。そして、影響が50%ある遺伝的要素を持つて生まれた個性を大切にすること、影響が44%ある環境(友人や周囲との関係)で人は変わる事ができる、ということでした。子育てでは、親の育て方が悪かったのか?と追い込まれがちですが、「視点を変えることで気持ちラクになるよ」という内容でした。



約70分の講演の後半の質問タイムでは、全国から集まった約8千人の参加者からの子育ての悩みに積極的に答えられ、これからの子育て・PTA活動の参考になる話や声掛け等の技を聞くことができました。

(副会長 佐々木雅美)



日本PTA
全国大会
次は 富山大会

来年の全国大会は富山県。8月28日(金)、29日(土)の2日間の日程で開催されます。大会スローガンは、「キトキト みんなでとやまなび」

笑顔でありますように」ととやまなびにはいくつもの意味が込められています。
・富山で学ぶ
・T oyamanabi(親学び)
・とやまnabi(ナビ道案内)
富山県下10か所で分科会、富山市総合体育館アリーナで全体会です。全国のPTAの仲間と語り合い学び合しましょう。

関東ブロック
研究大会
次は とちぎ大会

来年の関東ブロック研究大会は、11月14日(土)、15日(日)の2日間の日程で、栃木県宇都宮市内の6会場で分科会が開催されます。全体会は宇都宮市文化会館ホールです。

とちぎ大会のスローガンは、「とちぎ発 一期一会」

千葉市P連からも分科会発表校として花見川中学校PTAが推薦され、提案発表を行う予定です。

各区P連からもたくさんの方を募集していきます。ふるってご参加ください。

令和2年 千葉市P連 新年情報交換会



令和2年千葉市P連新年情報交換会が、1月25日(土)、東京ベイ幕張ホールにて、総勢320余名で盛大に開催されました。

第一部は、102校から会長・副会長などの役員、管理職の方々、市P連関係の参加者が32のテーブルに分かれて活発な情報交換が行われました。

◎テーマ①

今年は最初に市P連からの問題提起がありました。中止となった関プロ第4分科会で行う予定だったテーマ①「PTA活動の意義・役割を理解してもらう取組」任意加入・未加入家庭への対応②「負担を軽減し、だ



は情報不足によるものが多いので、宣伝・広報活動や横との繋がりを持つた良いのでは。

◎テーマ②

前任のPTA役員にOB役員として参加してもらうことにより、不安の軽減となり和やかな雰囲気での協力的な活動が進められている。

「いずれかの役職に必ず参加を！」ではなく、現役員が明るく・楽しく活動している良い空気感をアピール。
・楽しくやろう！親の背中を子どもが見ている。
・ポイント制を取り入れ、色々な家庭から少しでも参加できる形を整える事で、役員の負担を減らしている。
・時代によって変えるところは変えていかないといけないと思う。
・義務感、強制感、不公平感を無くしていきたい。
・「できる人が、

PTAの手紙は、加入・未加入の方に関係なく出している。
・入会の意味確認は行うべきではあるが「同意書」ではなく、会費納入をもって確認する程度に留めるのが実情に合っているのではないかと。
・PTA会費を納めるだけでもPTAの支援になる。会費の使い道が知られていないので、PRが必要ではないか。

◎その他

PTAを通して地域と繋がることにより自然災害が起こった時などに力になる。
・PTA役員になる事で、家とは違う子どもたちの様子を先生が教えてくれたり、授業中や部活中の様子を知ることができて良い。
・お父さんの参加について手紙で「父親も会員である」と呼びかけたり、オヤジの会への参加を口コミで発信している。

第二部は、熊谷市長、岩井市議会議長、磯野教育長をはじめ8名のご来賓をお迎えし、テーブルを超えての和やかな懇親会となりました。各区の紹介では、ラグビーの「ハカ」をアレンジした舞や、合奏、ワンチームでのダンスパフォーマンスなど練習の成果が発揮され、まさに「Pパッと楽しくA集まろう」の雰囲気会場に溢れました。

最後に、千葉市大会全体会式典の開催報告を映像で紹介し、ご協力のお礼をお伝えしました。
今年初めて実施したアンケートでは、「内容がとても参考になった(回答86名中71名)」「参加してはじめて実行委員の思いを知り感動した」という声が多数寄せられ、とても充実したことがわかりました。

令和元年度表彰 おめでとーございませう

千葉市社会教育功労者表彰

本年度は8名の方々が市P連からの推薦を受け、千葉市社会教育功労者表彰が決定しました。

- 尾形 淳 (横戸小)
- 丸山 育子 (稲毛小・中)
- 矢島 実 (市立養護)
- 齋藤伊知郎 (院内小)
- 豊岡 重人 (登戸小・緑町中)
- 興石 則子 (白井小・白井中)
- 中路由美乃 (みつわ台中)
- 渡部 和彦 (緑町小・緑町中)

日本PTA全国協議会会長表彰

11月15日(金)に東京赤坂のホテルニューオータニにて授賞式が行われました。
日本PTA佐藤会長より、表彰者に対し永年の功労についての慰労と感謝の言葉をいただきました。

- 星島恵美子 (若松中)
 - 矢嶋 恵子 (犢橋中)
 - 伊藤 麻里 (幸町一中)
 - 江波戸正子 (山王小)
- ※以上、敬称略



千葉市PTA小・中学生総合補償制度 (傷害総合保険・自転車総合保険)

- ・自転車事故はもちろん、日常生活でのケガや病気(注)を24時間
(注)ケガ+病気コースが対象となります。
- ・熱中症、0-157にも対応した充実した補償内容
(注)ケガ+病気コースが対象となります。
- ・自転車タイプもございます。通常でご加入いただくよりも割安です。

※このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または千葉中央支社までお問い合わせください。

お問い合わせ先 **0120-882-774** (受付時間:平日午前9時から午後5時まで)

【取扱幹事代理店】
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社
〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町18-10



【引受保険会社】
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 千葉支店千葉中央支社
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港8-4

2020年2月より申込受付開始
ただ今、申込受付中です!



© JAPAN-DA

* 稲毛区P連会長 石橋 敦子 *



今年度区P連の活動では、不慣れな進行や伝達不足で至らぬ点等があったと思いますが、一年間ご協力ご理解ありがとうございました。昨年9月の台風では若葉区内では停電断水が一週間続いた地域もありました。災害時の連携を迅速に行えるよう、各ブロック内、単P間の連絡を密に取るようスクラムを組んで、災害に強い若葉区P連としてワンチームで連携を図っていきたくと思っています。

写真は、区Pバレーボール大会の様子です。年度末に開催予定の区P研究大会では、ワールドカフェ方式で少人数でテーブルを囲み、市役所からオプザバーをお呼びして意見交換を行う予定です。皆さん、一年間ありがとうございました。

単Pで副会長職を数年経験しましたが、今年度区P連の会長職を引き受けてはじめて区P連がどのような存在なのか、どのような仕事をしているのかを知りました。

区P連として、小、中学校単Pの悩みや改革に対するアドバイス等、こちらで気にかけてすくいあげなければなりませんでしたが、前年度から引き継いだ仕事をこなし、いくのが精いっぱい、何もせず一年が過ぎてしまいました。ブロック再編の課題も残したままとなつてしまい、区P連加入の単Pの皆様にはお役に立てず大変申し訳ありませんでした。

また、市P連の皆様のご指導、区P連事務局の役員の方々のご協力に大変感謝申し上げます。

* 若葉区P連会長 小川 広太 *

今年度区P連の活動では、不慣れな進行や伝達不足で至らぬ点等があったと思いますが、一年間ご協力ご理解ありがとうございました。昨年9月の台風では若葉区内では停電断水が一週間続いた地域もありました。災害時の連携を迅速に行えるよう、各ブロック内、単P間の連絡を密に取るようスクラムを組んで、災害に強い若葉区P連としてワンチームで連携を図っていきたくと思っています。

写真は、区Pバレーボール大会の様子です。年度末に開催予定の区P研究大会では、ワールドカフェ方式で少人数でテーブルを囲み、市役所からオプザバーをお呼びして意見交換を行う予定です。皆さん、一年間ありがとうございました。



* 中央区P連会長 杉本 景子 *



多様化の時代に即しPTAも実情に応じて形を変えていくと思います。子どもたちが「子どもたちにとって「最も身近で最も信頼している大人たち」の集まりであることに今後も変わりはありません。「大人になつたらあんな風にイキイキとみんなのために行動する大人になりたい」そんな風に子どもたちの目に映る大人でありたいものです。区P連活動では関プロ実行委員の皆さんをはじめ、まさにそんな素敵な大人の姿をたくさん感じることができました。ありがとうございました！今後も子どもたちが希望を持って健やかに成長することを心から願っています。

区P連 この1年を振り返って

* 美浜区P連会長 白勢 朱美 *



美浜区は加入校3校と少ない中、他の区の方の力を借りながら活動しています。会長経験のない私が、区P連会長など未知の世界ではじめの頃は何を言っているのか、言われているのか全てがわからない事だらけで不安しかありません。ターゲットしました。ですが、市P連、区P連の方のご協力を得て親切にわかりやすく教えて頂きました。

一年間ありがとうございました。

* 緑区P連会長 高嶋 輝生 *

区P連会長を引き継ぎ、最初の活動がバレーボール大会でした。誉田中学校の体育館を借りての大会となり、何も分からずバタバタしていた時に、区P連を卒業された方が集まり事前のアドバイスを準備の手伝いをして頂きました。当日も多くの方々の協力を頂き無事に終了することが出来ました。

また、関プロ千葉市大会やふるさと祭りでは皆が一丸となり準備していましたが悪天候のために中止となり虚脱感に苛まれていました。しかし、周りの会長に労いの言葉を頂き救われました。多くの方々に支えられ、絆の深さを改めて感じさせて頂いた1年でした。来年度も緑区P連を宜しくお願いします。



* 花見川区P連会長 斎藤 文弘 *



まずは、初めての区P連理事会。何回も事務局で集まり打ち合わせた、あの日。理事会が上手くいき参加者の方にお誉めのお言葉を頂いたあの日。バレー大会で、選手の皆さんが真剣に、また楽しそうにプレーしていたあの日。色々なあの日が昨日のこのように思い出されます。色々な人とのつながり、楽しかった、笑った、悩んだ、体力的に大変など色々な経験をさせて頂いた一年。単位PTAの本部にいなかつたら経験できなかった大切な経験をさせてもらったと、有り難く感じます。そんな経験も、最後は、「よかつたよ、楽しかつたよ」と、次年度へ引き継いでいきますように、今後も努力して参りたいと思います。

「小・中学生総合生活保障制度」

(こども総合保険・自転車総合保険)

小・中学生総合生活保障制度は、千葉市PTA連絡協議会会員の皆様を対象とした制度として、多くの方々に加入いただいています。ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。

引受 保険会社 **AIG損害保険株式会社 千葉支店** ☎043-350-3170
千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト20F(営業時間 9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

推薦 **千葉市PTA連絡協議会**



千葉市大会実行委員会
皆様へのメッセージ

全体会運営部長より

全体会運営部では、参加される皆様に「参加して良かった」と思っていただけの大いにすべく、教育評論家の尾木直樹先生による記念講演、全国レベルで活躍している千葉県立幕張総合高校シンフォニックオーケストラ部によるアトラクション等を準備してきました。

残念ながら、台風により千葉市大会は中止となりましたが、日本PTA佐藤秀行会長をはじめとする関係者の皆様のご厚意により、12月6日に千葉市にて簡易版の全体会を実施することができました。その場で多くの労いのお言葉までいただき、実行委員の心の隙間を埋めることもできました。ありがとうございました。

これまでの3年間、多くの仲間や協力者に支えられながら、大会スローガン「磨こう親の背中」を実践するかのよう有意義で充実した日々を過ごすことができましたのは、実行委員をはじめとする関係者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。（全体会運営部長 橋本浩一）



千葉市大会実行委員会

分科会担当者より

★第1分科会 中央区

組織運営 「絆ぐ」

実はオープニングアクトとして中央区P連の理事と役員によるダンスを披露する予定でした。夏の間に、現役OBと練習を重ね、過去数年で一番の仕上がりで、幻のパフォーマンスです。事前に見た各発表校と高田先生の講演のプレゼン資料は、想像以上におもしろく皆さんとこれを聴けなかったのは本当に残念でした。

(分科会長 元木昌弘)

★第2分科会 稲毛区

家庭教育 「親」

私たち分科会が本格的にスタートできたのは今年になってからでした。当初は問題山積でしたが、機智に富んだ運営委員と知恵を出し合い、たまには脱線しながら解決していきました。開催はなりませんでした。苦労も楽しく乗り越えられる仲間を得られたことで、準備に費やした努力や時間には有意義だったと思います。

(副分科会長 小林美樹)

★第3分科会 若葉区

安心・安全 「背中」

事件に巻き込まれたり、ゲームなどの依存で健康を害したりと、多くの危険にさらされている現在の子どもを守るには、まず私たち親が無知ではない、という思いで分科会を準備してきました。子どもたちを取り巻く問題は待ったなしです。これからみんなで協力して取り組んでいきたいと思います。

(分科会長 小川智子)

★第4分科会 市P連・美浜区

今日的課題 「磨」

第4分科会では、時代に合った楽しいPTAにしたいという思いから、テーマについて各県市町村の役員とのディスカッションで意見を出し合い、皆さんのこれからの活動に少しでも役立てられればと考えていました。残念ながら中止となりましたが、3年間一緒に準備してきたメンバーと楽しく活動できたことに感謝しています。

(分科会長 鈴木康弘)

★第5分科会 花見川区

地域連携 「郷」

中止が決まり落胆していたところ、講師や発表校の皆様、多くの方々から温かいお言葉をいただきました。素晴らしい内容の講演、研究発表が披露できなかったことは大変残念ですが、何らかの形でお伝えできればと思います。運営委員、スタッフ、当分科会に関わっていたいただいた全ての皆様にも改めて感謝申し上げます。

(分科会長 尾形 淳)

★第6分科会 緑区

伝統文化 「未来」

発足時はテーマがなかなか決まらず大変時間が掛かりました。が、決まってきたからの協力体制は素晴らしい。そして想像を超える太鼓の演奏の迫力や表現力に感動することが私達の目標へと変わりました。機会があれば是非お届けたいと思います。

(分科会長 高嶋輝生)

分科会運営部長より

台風が迫る大会3日前。中止か、いや、なんとか開催できるかも、と心の片隅で葛藤していた頃、ある発表者の方から届いたメッセージ「決定事項を全力で応援します」。この言葉には心が震えました。また、「子どもを置いては行けない」という親として当たり前の心の叫びも届き、大会の意義を再確認させられました。

これらの言葉はPTA活動の縮図だと感じています。研究大会は開催できませんでしたがPTA活動の本質について考える機会を与えられたことは関係者全員にとって大変貴重な体験であり、財産になったと確信しています。さらに、我々運営側の活動は誇りとして刻まれました。

最後に、講師ならびに発表者の皆様、関係各位、そして、ひたむきに情熱をもって準備に当たってくださった各分科会のすべての仲間達に厚くお礼申し上げます。またどこかでお会いしましょう。

(運営部長 川相吉弘)

全体会予定だった10月13日の朝は、台風一過、雲一つない快晴でした。万一の来場者に備え、全体会運営部と県文化会館に待機しましたが、来場者は0でした。

後日、多くの皆様のご支援のおかげで、全体会式典だけでも開催でき、提案予定だった各県市発表校のご寄稿により、紙上発表という形で「大会報告書」が完成しました。各学校に3部ずつ配布しています。ご協力に心より感謝いたします。

(事務局)

千葉市PTA安全互助会について

1月22日(水)、安全互助会説明会が千葉中央コミュニティセンターにて開催され、87名の参加をいただきました。保険会社と代理店から「PTA総合保障制度」について細かい説明がありました。

千葉市PTA安全互助会について

安全互助会は、市P連に加入している単位PTAのみ加入できる総合保障制度です。児童生徒・会員について、PTA活動中の障害事故や怪我、さらに第三者への損害賠償責任を一世帯当たり120万円の掛け金で補償する団体保障です。

＜補償されるケース例＞

- ・バレー大会での怪我、物損、熱中症、バザーでのやけど、物損など
- ※2020年4月新登場。特約でさらに保障内容が充実します。
- PTAのイベント等で出した飲食物により、他人が食中毒を被った場合の損害補償
- PTAへのクレームに関して、提携先弁護士からのアドバイスや弁護士無料相談など



新年度の加入申し込みのお知らせが各学校へ配布されます。PTA活動中の方が一の事故に備え、ぜひご加入ください。

PTA学級(市P連助成金補助事業)

1月22日(水)、安全互助会説明会に引き続き、PTA学級説明会を開催しました。

PTA学級ってなに？

各学校PTAの研修活動は子どもや先生、保護者の学びの場として大切な機会です。ですが、講演会や講習会を企画しようと思っても、講師への謝金など、単Pの予算では難しいようです。そこで、千葉市P連では申請のあった学校(年間4校迄)に助成金3万円を補助する「PTA学級」という事業を行っています。

学習内容例

- ・防災教育(被災地から講師を招き講演会)
- ・いのちの講座(助産師さんの講話と体験学習)
- ※2校に6万円を補助しました。

編集後記

「市P連ちば第76号」より平成31年度広報委員がお届けします。本紙の発行にあたり、ご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。平成から令和となった節目である年にこれからも5名で協力し、活動していきますので引き続きよろしくお願いたします。

(広報委員一同)